

2018年2月8日

「マツダ CX-5」を商品改良

—全エンジンの大幅な進化など、日常のさまざまなシーンでメリットを実感できる新技術を採用—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、デザインと技術を磨き上げ、「走る喜び」を深化させたクロスオーバーSUV「マツダ CX-5」を商品改良し、全国のマツダの販売店を通じて本日より予約を開始し、3月8日に発売することを発表しました。



「マツダ CX-5 XDL Package」

今回の商品改良では、マツダの国内向け SUV 最上位モデルである新型「CX-8」にも搭載している進化したクリーンディーゼルエンジンに加え、新技術を採用したガソリンエンジンを搭載するなど、進化した最新の SKYACTIV エンジン进行全面展開します。

具体的には、ガソリンエンジン「SKYACTIV-G 2.0」および「SKYACTIV-G 2.5」に「エッジカットピストン」や「低抵抗ピストン」などの新技術を採用し、さらに「SKYACTIV-G 2.5」には「気筒休止」技術をマツダとして初めて採用しました。ディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 2.2」には「急速多段燃焼」などの技術を採用することで実用燃費や走行性能を向上させました。

また「360° ビュー・モニター」をメーカーセットオプションで設定^{*1}したほか、「車速感应式オートドアロック(衝撃感知ドアロック解除システム付)」を全グレードに標準装備するなど、安全性や利便性も向上させました。さらにフロントドア/リアドアのパワーウィンドーに「自動反転機構およびワンタッチ&タイマー付」を採用^{*2}したほか、お客さまから好評をいただいているパワーリフトゲートのメーカーセットオプション設定をガソリンエンジン車にも拡大^{*3}することで、機能性も向上させました。

これらの改良により、ガソリンエンジン車では高速道路やバイパスでの走行等、一定速度で巡航している状態での実用燃費の向上が、またディーゼルエンジン車では多人数乗車時や荷物を載せた状態で従来以上の快適な走りを実用燃費の向上が期待できるようになります。また、「360° ビュー・モニター」を使用することで駐車時や狭い道でのすれ違い時、見通しの悪い交差点進入時でもより安全な運転をサポートできるようになります。

今回の商品改良では、このように日常的にお客さまが使用されるシーンにおいて、これまで以上に「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を実感いただけることを目指しました。

マツダは今後も、日常のさまざまなシーンでメリットを感じていただけるよう、継続して商品改良を行うことにより、お客さまの人生においてかけがえのない存在となり、お客さまと特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

■「マツダ CX-5」商品改良の概要は以下のとおり

●進化したエンジン

➢ 新技術採用により日常域での扱いやすさと実用燃費向上に貢献するガソリンエンジン

「SKYACTIV-G 2.0」「SKYACTIV-G 2.5」

- ・ 耐ノック性を向上させるため、ピストンのエッジカット形状の変更や排気ポート形状の見直しを実施。高負荷状態での実用燃費やトルクの改善に貢献。
- ・ ピストンスカート部の形状を最適化した「低抵抗ピストン」を採用することで機械抵抗を低減。実用燃費の改善と静粛性の向上に貢献。
- ・ 冷却水の流量を適切に制御することでシリンダーからの熱逃げを削減。冬季を中心に暖気性が向上し、お客さまが日常使用されるシーンにおける実用燃費の改善に貢献。
- ・ 噴霧を改善するため、新ノズル付き拡散インジェクターを採用。理想的な高拡散噴霧により燃料がシリンダー壁面に付着する前に確実に気化することで効率的で無駄の少ない燃焼を実現。また、より正確な燃料噴射制御が行える新 PCM (Powertrain Control Module) を採用することで、排出ガス中の粒子状物質 (PM) を低減し、さらに優れた環境性能も実現。
- ・ 「SKYACTIV-G 2.5」には「気筒休止」を採用。高速道路やバイパスでの走行等、一定速度での巡航時などエンジン負荷が低い場合に、4 気筒のうち 2 気筒を休止させることで、意図通りの走りを実現しつつ、必要以上の燃焼を抑え、軽負荷領域の実用燃費の向上に貢献。

➢ 静粛性や環境性能だけでなく、最大トルクを 450N・m に高めるなど、走行性能も向上したクリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 2.2」

- ・ 少量の燃料を多段かつ高圧で微細噴霧化して噴射することで静粛性と燃焼効率、高い環境性能を両立する「急速多段燃焼」を採用。「段付きエッグシェイプピストン」、「超高応答マルチホールピエゾインジェクター」、「可変ジオメトリターボチャージャー」などの新技術により、最高出力を従来の 129kW から 140kW に、最大トルクを 420N・m から 450N・m に向上させるとともに、優れた燃費性能を実現。

●高い安全性能と利便性の向上

- ・ 最新の「360° ビュー・モニター」をメーカーセットオプションで設定^{*1}。車両の前後左右にある 4 つのカメラ映像をさまざまな走行状況に応じて切り替えてセンターディスプレイに表示することで、死角や障害物との距離を目視で確認できるようになり、いち早い危険認知をサポート。
- ・ パワーリフトゲートのメーカーセットオプション設定グレードを拡大し、「20S PROACTIVE」、「25S PROACTIVE」に適用。
- ・ 車速感応式オートドアロック(衝撃感知ドアロック解除システム付)を全グレードに標準装備。
- ・ 「マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)」の操作性を向上させるため、スイッチ表示を変更するとともに、モード切替時のビーブ音を追加^{*1}。

●インテリアの質感の向上

- ・ フロントドア/リアドアのパワーウインドーに「自動反転機構およびワンタッチ&タイマー付」を採用^{*2}。
- ・ フロントドア/リアドアのパワーウインドースイッチにイルミネーションを追加^{*2}。

●マツダコネクットの機能進化

- ・ CX-8、デミオに搭載済みの自車位置演算ユニットを全グレードに搭載。さまざまな時間や場所において安定した高精度測位が行えるため、従来の GPS 衛星のみでは難しかった高層ビルの多い場所や高速道路の高架下などでの自車位置測位と表示がより正確化^{*4}。

■「マツダ CX-5」のメーカー希望小売価格(消費税込)は以下のとおり

(※写真掲載のモデル)

機種名	駆動	エンジン	変速機	メーカー希望 小売価格 (消費税込)	JC08モード燃費 (km/L) ⁵	WLTCモード燃費(km/L) ⁵				減税 レベル ⁶ 取得税/ 重量税
						市街地モード (WLTC-L)	郊外モード (WLTC-M)	高速道路モード (WLTC-H)	高速道路 平均	
20S	2WD (FF)	SKYACTIV- G 2.0	SKYACTIV- DRIVE (6EC-AT)	2,494,800 円	16.0	14.6	11.9	15.1	16.2	20%/ 25%
20S PROACTIVE				2,689,200 円	16.0	14.6	11.9	15.1	16.2	
25S	4WD	SKYACTIV- G 2.5		2,721,600 円	14.2	13.0	10.2	13.4	14.7	対象外/ 本則税率 適用
25S PROACTIVE				2,916,000 円	14.2	13.0	10.2	13.4	14.7	
25S L Package	2WD (FF)	SKYACTIV- G 2.5		2,986,200 円	14.8	13.8	10.8	14.3	15.7	20%/ 25%
	4WD			3,213,000 円	14.2	13.0	10.2	13.4	14.7	対象外/ 本則税率 適用
XD	2WD (FF)	SKYACTIV- D 2.2		2,808,000 円	19.0	17.4	13.9	17.6	19.6	免税/ 免税
	4WD			3,034,800 円	18.0	16.6	13.6	16.5	18.6	
XD PROACTIVE	2WD (FF)			3,002,400 円	19.0	17.4	13.9	17.6	19.6	
	4WD			3,229,200 円	18.0	16.6	13.6	16.5	18.6	
XD L Package ^{**}	2WD (FF)			3,299,400 円	19.0	17.4	13.9	17.6	19.6	
	4WD			3,526,200 円	18.0	16.6	13.6	16.5	18.6	

— 上記価格には保険料、税金(消費税を除く)は含まれておりません。また購入時にリサイクル料金 12,860 円が別途必要です。

— 特別塗装色「ソウルレッドクリスタルメタリック」を選択した場合は、75,600 円高(消費税込)。

— 特別塗装色「マシーングレープレミアムメタリック」を選択した場合は、54,000 円高(消費税込)。

— 特別塗装色「スノーフレイクホワイトパールマイカ」を選択した場合は、32,400 円高(消費税込)。

以 上

*1 「20S PROACTIVE」「25S PROACTIVE」「25S L Package」「XD PROACTIVE」「XD L Package」に設定。

*2 「25S L Package」「XD L Package」に採用。

*3 「20S PROACTIVE」「25S PROACTIVE」に新設定。

*4 ナビゲーション機能の利用には、別売の「ナビゲーション用 SD カード PLUS」が必要です。

*5 JC08 モード燃費および WLTC モード燃費は国土交通省審査値で、燃料消費率は定められた試験条件での値です。

お客様の使用状況(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用時等)に応じて燃料消費率は異なります。

WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

市街地モード: 信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。

郊外モード: 信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。

高速道路モード: 高速道路等での走行を想定。

*6 環境対応車普及促進税制による減税措置。(取得税の減税は平成 30 年 3 月 31 日まで、重量税の減税は平成 30 年 4 月 30 日までに新規登録した場合。これ以降に新規登録した場合の減税レベルについては、販売店担当者にご確認下さい)